

授業科目名	スペイン語Ⅱ ※「Ⅱ」の受講は「Ⅰ」を履修していることが条件となります。			担当教員名	松田 侑子	
科目区分	単位	配当年次	実施時期	曜日・時限	形態	
外国語科目	選択	1	3・4	秋学期	木・3	演習
授業概要						
<p>現在、四億人以上のネイティブを有するスペイン語を基礎から学ぶ。また、スペイン語圏の国々（スペインやブラジル以外のラテンアメリカ諸国）の文化も学ぶことで、異文化理解も目指したい。その相違について考え、自国の文化と比較することで、自身の文化にもさらなる理解が得られるであろう。</p>						
到達目標						
<p>スペイン語文法の習得と、並びに異文化理解を目標とする。</p>						
授業方法(展開)						
<p>予習・復習を怠らぬよう。生徒の理解度を知るためにも、問題をあてることもある。</p> <p>また、指定教科書と辞書の購入をすること。それ以外にプリントをくばったり、時にはビデオを見たりもする。</p>						
関連科目・知識・スキル						
<p>前期に同科目の単位を取得したことが条件である。</p>						
成績評価						
<p>授業貢献度や授業態度、小テストやレポートなどを平均して評価する。</p>						
教科書・参考書など						
<p>指定教科書；さあ、始めよう！スペイン語（同学社）</p>						
履修上の注意事項						
<p>教科書・辞書は必ず毎授業、持参すること。</p> <p>言語を学ぶ態度でもって授業に臨むこと。</p>						

授業の柱(単元)と授業スケジュール

指定教科書『さあ、始めよう！スペイン語』を使用する。ただし、内容を変更することもある。(一年を通じ、本教科書を終了することには変わりはない)

第1回・第2回

前期の復習

第3回～第6回

動詞の過去形を学ぶ。スペイン語には過去形が二つ存在する(点過去と線過去)ことを学び、およびその相違点を明らかにする。

第7回～第9回

その他の文法事項(seの用法)や未来形、過去未来形、命令法などを学ぶ。

第10回～第13回

接続法を学ぶ。接続法は英語にはないものなので、じっくりと習得する。その活用の仕方・用法や直接法(今まで学んできたものの用法は総じて直接法である)との違いを知る。

第14回・第15回

すべての総復習を行う。

*ビデオやCDを使用し、より生きたスペイン語に触れる機会も設ける。

学生への一言

春学期からのつづきとなります。また、文法は一通り終了するつもりなので、難易度は若干あがると思われます。よく考えてから受講して下さい。